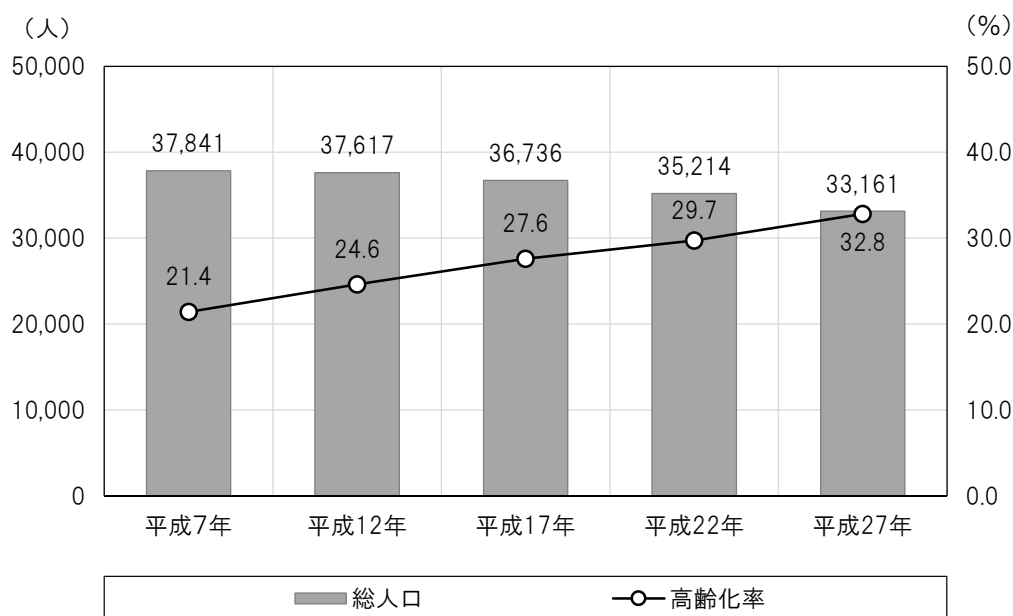


## 第3章 南丹市の現状

### 1. 総人口と高齢化率の推移

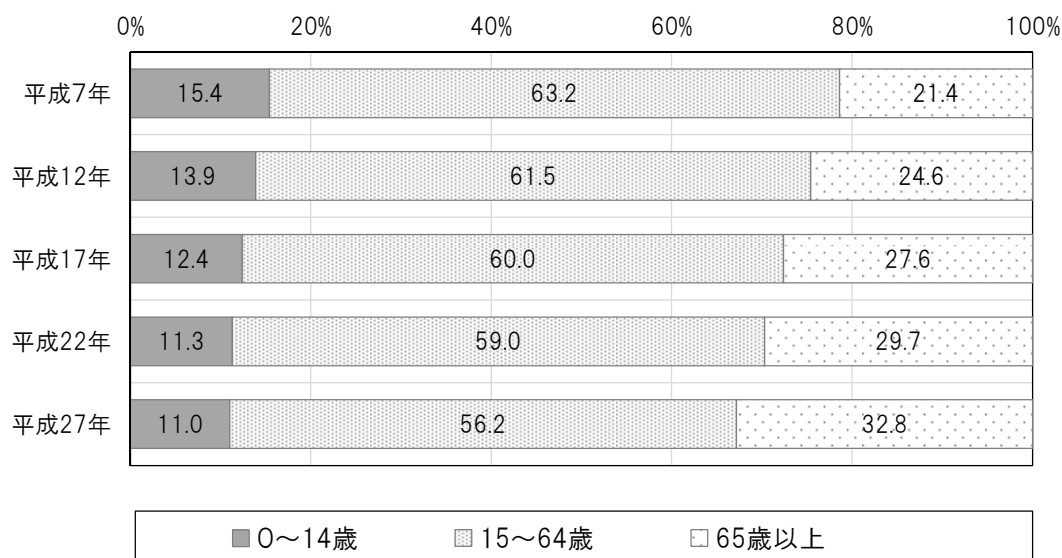
総人口の推移をみると、平成7～27年にかけて減少しています。逆に、高齢化率については、平成7～27年にかけて上昇しています。



資料：国勢調査（平成27年は住民基本台帳3月末）

### 2. 年齢3区分別人口構成比の推移

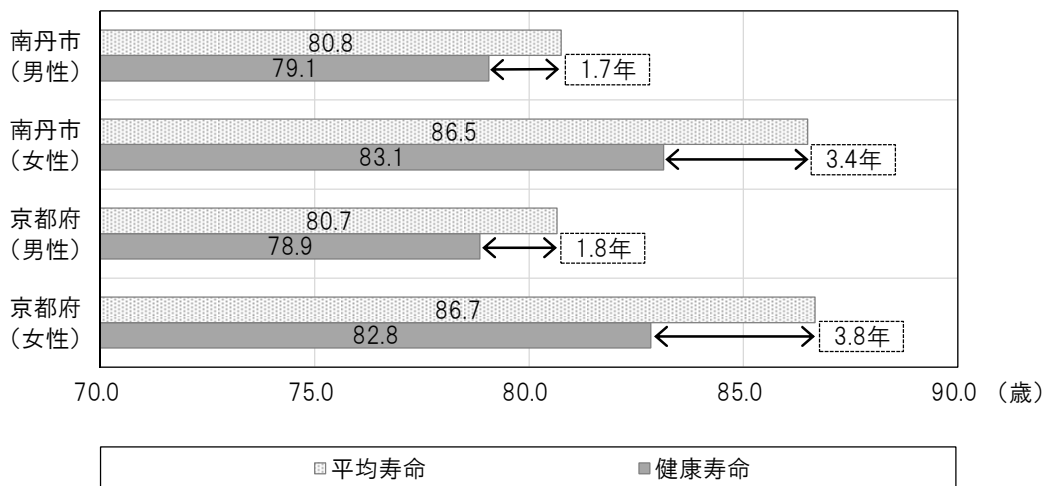
年齢3区分別の人口構成比の推移をみると、0～14歳と15～64歳の割合は平成7～27年にかけて低下していますが、65歳以上が占める割合は上昇しています。平成27年の0～14歳の割合が11.0%、65歳以上の割合は32.8%となっています。このことから少子高齢化の進行がみてとれます。



資料：国勢調査（平成27年は住民基本台帳3月末）

### 3. 平均寿命と健康寿命（平成25年度）

南丹市の平成25年度の平均寿命は男性80.8歳、女子86.5歳となっており、健康寿命は男性79.1歳、女性83.1歳となっています。平均寿命と健康寿命の差は、男性が1.7年、女性が3.4年と健康でない期間に差があります。



資料：平均寿命と介護保険要認定者数から算出した府内市町村別の健康寿命（きょうと健康寿命・未病改善センター）

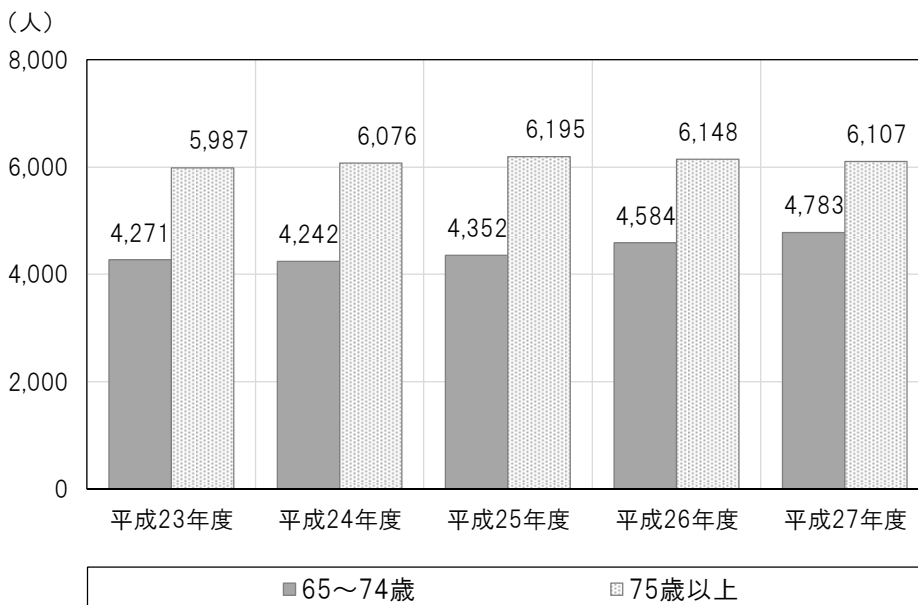
④：国が発表している健康寿命（右表）は、国民生活基礎調査を基に算出されています。これは主観的調査であり、市町村単位の数値がないため、今回の資料には使用していません。この算定方法によると、健康寿命と平均寿命の間には、全国平均で、男性約9年、女性12.4年の差があります。

		男	女
日常生活に制限のない期間の平均(歳)＝健康寿命	全国	71.19	74.21
	京都	70.21	73.11
日常生活に制限のある期間の平均(年)	全国	9.01	12.40
	京都	10.65	13.67

平成25年国民生活基礎調査

### 4. 高齢者人口の推移

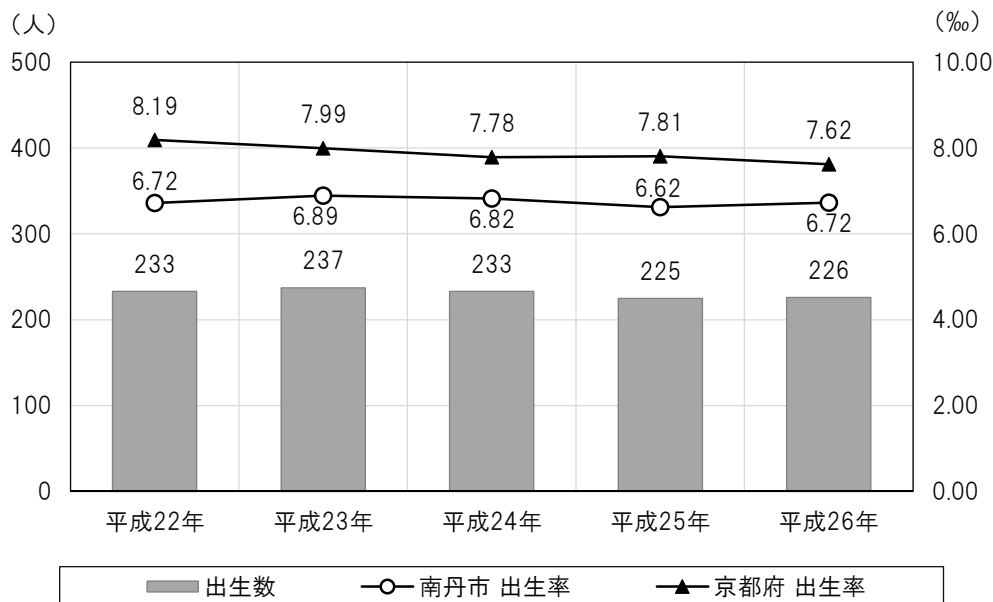
高齢者人口の推移をみると、65～74歳では平成24～27年度にかけて541人増加し、4,783人になっています。75歳以上では平成23～25年度にかけて増加し、その後減少し平成27年度では6,107人になっています。





## 7. 出生数と出生率の推移

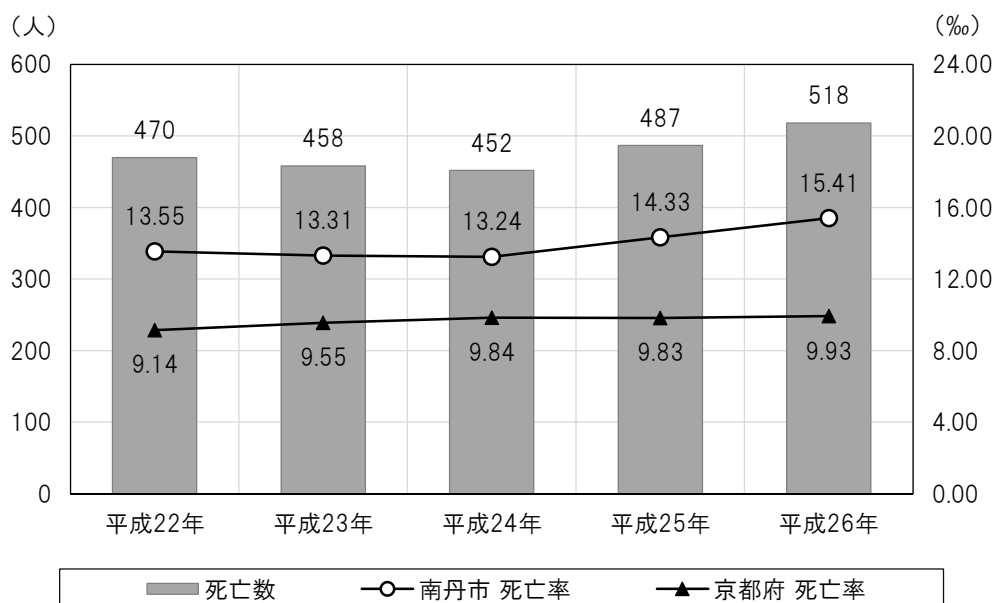
出生数の推移をみると、平成22～26年にかけて減少傾向にあり、平成26年では226人となっています。出生率については、京都府と比較すると低い状況ですが、京都府が減少を続けているのに対して、南丹市は平成22～26年にかけて、ほぼ横ばいとなっています。



資料：京都府保健福祉統計（人口動態統計）

## 8. 死亡者数と死亡率の推移

死亡者数の推移をみると、平成22～24年にかけて減少し、その後上昇しており、平成26年では518人となっています。死亡率については、平成24～26年にかけて上昇し京都府と比較すると差が広がっています。

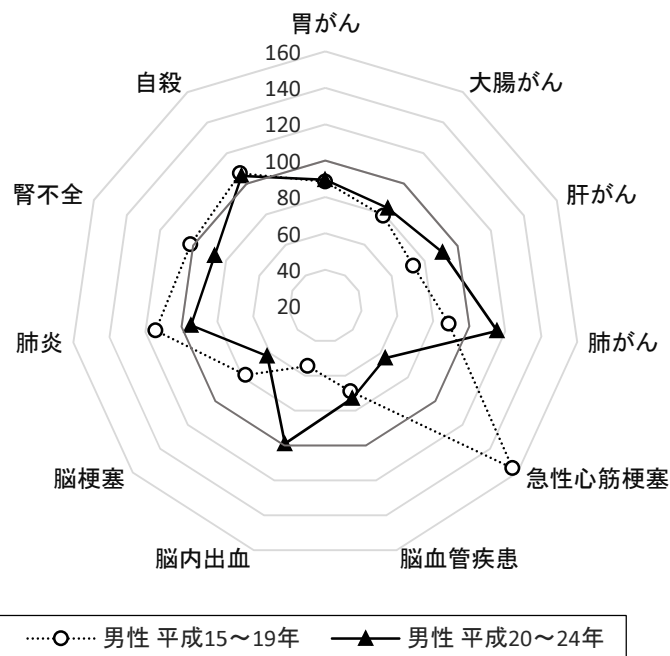


資料：京都府保健福祉統計（人口動態統計）

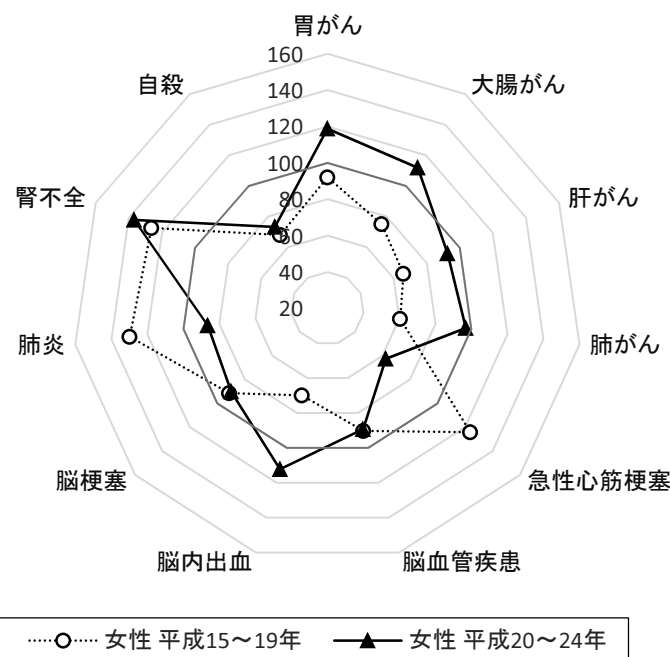
## 9. 標準化死亡比 (SMR) ※1

平成20～24年の SMR についてみると、男性の肺がん、自殺が全国水準(=100)を超えています。女性では、胃がん、大腸がん、脳内出血、腎不全が全国水準を超えています。

男性



女性

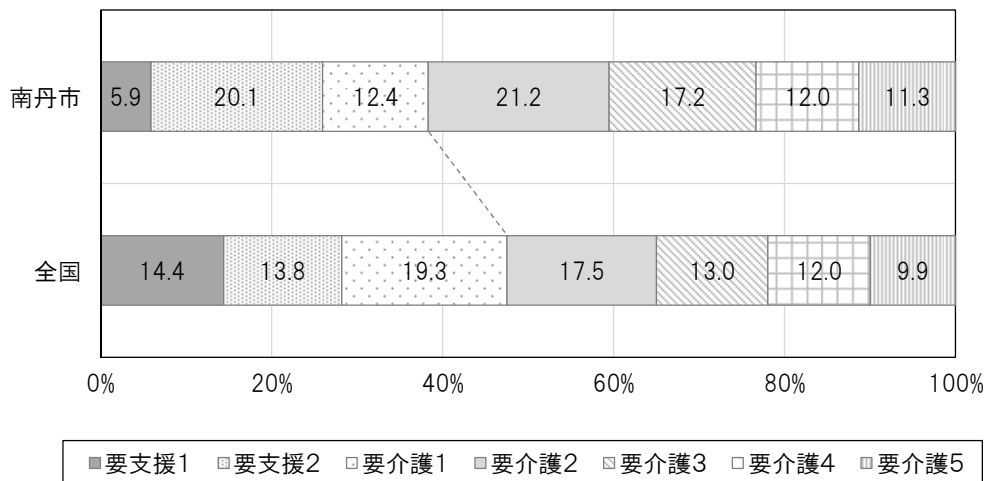


資料：京都府保健福祉統計（人口動態統計）

※1標準化死亡比 (SMR)：年齢構成の異なる地域間で、死亡状況の比較ができるように考えられた指標。標準的な年齢構成にあわせて、地域別の年齢階級別の死亡率を算出する方法。

## 10. 要介護度別認定割合の状況（平成27年3月末）

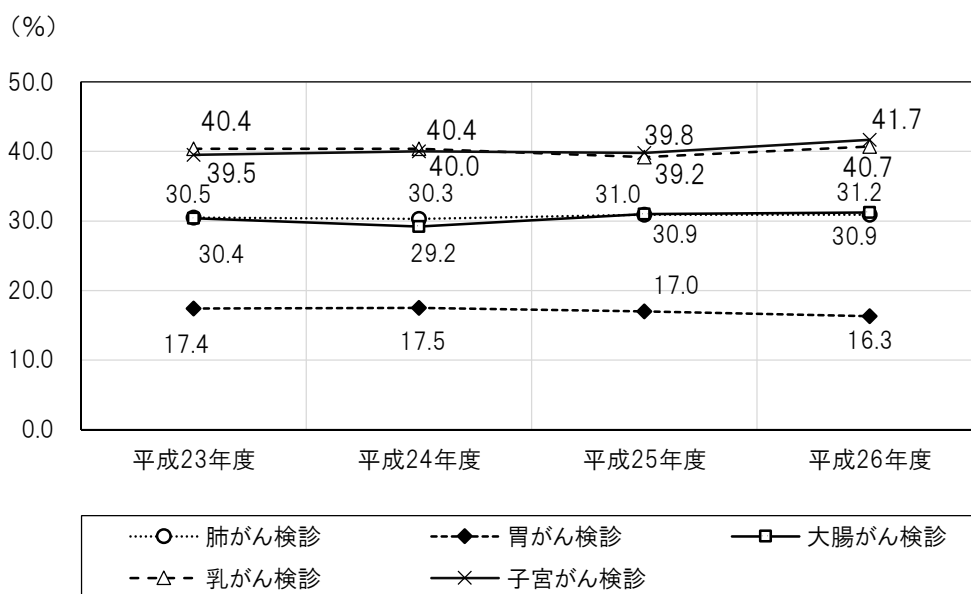
要介護度別認定割合の全国との比較についてみると、南丹市は要介護2以上において割合が高くなっています。



資料：介護保険事業状況報告

## 11. がん検診受診率の推移

がん検診受診率の推移をみると、各種検診において、ほぼ横ばいとなっています。



資料：地域保健・健康増進事業報告